



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2011 推進ニュース

— 介護ウェーブの “Big Wave” をおこそう! —

新方針「介護ウェーブ2011後半戦の方針」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう!

「改正介護保険の改善を求める請願」が厚労委員会に付託!

「直接議員を訪問してみて、少しでも自分たちの気持ちを訴えることが大切だと感じた」

昨年10月から取り組み、全国目標10万筆を突破した『「改正」介護保険の改善を求める署名』が、第180回国会(会期2012年1月24日～6月21日)衆議院、参議院の各厚生労働委員会に付託されました。

衆議院には63,152名(筆)の請願で、厚生労働委員の高橋千鶴子議員ら9名(赤嶺政賢議員、笠井亮議員、穀田恵二議員、佐々木憲昭議員、志位和夫議員、塩川鉄也議員、宮本岳志議員、吉井英勝議員)が紹介議員になっています。参議院は、40,022名(筆)の請願で、厚生労働委員の田村智子議員ら7名(福島みずほ議員、井上哲士議員、市田忠義議員、紙智子議員、大門実紀史議員、山下芳生議員)が紹介議員になっています。

全日本民医連では、この間2回の国会行動を行いました。2012年1月31日の「介護ウェーブ国会行動」には、10県連(長野、山梨、千葉、東京、神奈川、福井、静岡、大阪、福岡、沖縄)から37名が参加し、衆参厚労委員や参加者の地元選出の議員を中心に「改正介護保険の改善を求める請願」を求める陳情を行い、6名の議員と57名の議員秘書と面会しました。参加者から、「情勢学習で新たな怒りがわき、陳情書の内容や介護現場の状況を訴える言葉に力が入った」、「国会行動に行ってきたと言われあまり関心が無く参加したが、情勢学習や議員要請と一緒に回った方々の話を聞きとても勉強になり、国会行動っておもしろいって感じた」、「これまで、政治に対する不満や怒りがあっても、外の話しのように傍観していたが、直接議員を訪問してみて、少しでも自分たちの気持ちを訴えることが大切だと感じた」等の感想が出されました。

今後の国会行動は、2012年4月21日(水)に、国民運動部と共同した行動を行います。全国から介護改善、社会保障の改善の声を国会に届けるために、事例を持って結集しよう!

引き続き、シンポジウム、定例宣伝・署名行動や、地域での学習会等の創意工夫の取り組みを強化し、利用者・家族、地域住民等に問題点を伝えながら、共同した取り組みを展開していこう!

「あきらめない」を合言葉に3月3日「ひなまつり街頭宣伝」行動に50名が参加(石川)



介護報酬改定で訪問介護の生活援助が60分から45分に短縮されたことに対して、県連内のヘルパーやケアマネジャーが「あきらめない」を合言葉に3月3日「ひなまつり街頭宣伝」行動を行いました。50名を越すヘルパー、ケアマネジャーが金沢駅前に集まり道行く市民にビラを配布して署名のお願いをし、1時間程度で298筆集まりました。いままで街頭から呼びかけた署名行動で300筆近くを集約した経験はありません。参加したヘルパーの熱意の現れと生活援助短縮でお年寄りの生活が支えられなくなる現実に対する人々の共感を感じました。宣伝行動後、駅前のホテルのラウンジでコーヒーとケーキを食べながら、経験交流と今後の取り組みなど相談しました。今回の宣伝行動には、石川県のヘルパー職能団体の会長も個人で参加しました。また、署名には保健師学校の元先生の署名もありました。

(2012年3月5日 社会福祉法人やすらぎ福祉会 酒井秀明専務より)

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp